

ホッピーだより

平成18年 11月 1日 (2006/ 11/ 1)

No. 264



むかわ町立穂別博物館

054-0211

北海道勇払郡むかわ町穂別80-6

0145-45-3141 (Tel & Fax)

ホッピーのひみつ5

「ホッピーは、何色？」

クビナガリュウ「ホッピー」は、何色だったでしょう？

青？ 緑？ 茶？ 赤？ 白と黒？ しま模様？ まだら模様？ ぶち？

化石になった骨の色は黒っぽいですね。でも、もともとの骨の色は白っぽいのです（博物館にミンククジラなどの骨格があるので見てください）。化石の色は、もともとの色ではなく、石になってしまった色です。その色は、まわりの地層（ちそう）や岩石によっても違ってきます。たとえば皮ふが化石として残っていても、もともとの色は分からないのです。

博物館でつくった復元図は、背中が濃い青色で、おなかは白色をしています。これは今のイルカやクジラと同じような色です。クビナガリュウも魚などをつかまえていたので、海の中で目立たない色をしていたと考えて、このような色にしました。みなさんは何色だったと思いますか？

(学芸員 さくらい)

ホッピー復元図 →
(観覧券にもっています)



穂別博物館 2006年秋の特別展

「むかわの自然 -山と干潟の生き物たち-」

むかわの動物・植物を、写真やはく製で紹介します

穂別の山の動物や植物



コゲラ



エゾリス



カタクリ



クマガイソウ

鷗川の干潟の鳥や植物



ダイゼン



セイタカシギ



イソスミレ



ハマハタザオ

撮影 ネイチャー研究会inむかわ

12月17日(日)まで

博物館特別展示室

展示協力：ネイチャー研究会inむかわ

博物館行事の紹介

行事の申込み・問い合わせは、穂別博物館へ

化石クリーニング体験

11月11日(土) 午後1時30分～

石をけずって化石を取り出そう！（要申込）

定員10人 <今年最後のクリーニングです>

マイミュージアム「私のお宝展」 9月23日～10月9日



むかわ町となつて初めての「私のお宝展」でしたが穂別地区はもとより

鶴川地区からも素晴らしいお宝が出品され、訪れた方々の目を楽しませてくれました。

昔のくらし体験

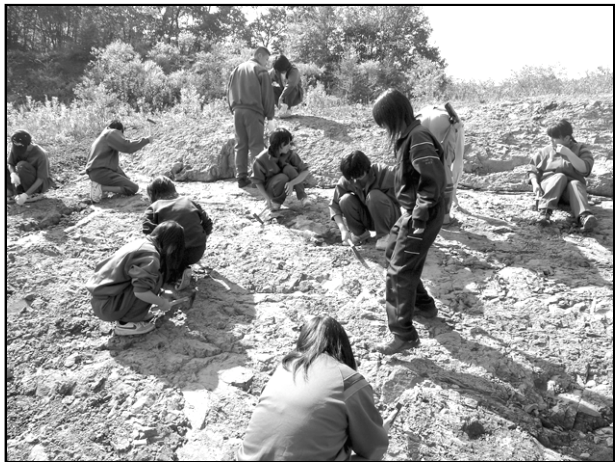
9月22日・23日



中村記念館を使い新冠レ・コード館や穂別苦小牧森林組合そして堀岡粋

子さんの協力で、SPレコード聴取、薪割り昔のアイロンがけを体験してもらいました。

穂別高校「化石採集会」 10月5日・6日



穂別高校の1年生37名と3年生26名が博物館を見学、化石について学芸員から説明を受けた後、体験学習用地で化石を採集しました。ノジュール探しに懸命でした。

穂別小学校「地質見学会」 10月21日



穂別小学校6年生25名が、穂別地域の地質について学習しました。博物館を見学し学芸員の説明を受けた後、現地で、古い時代の泥岩や砂岩を手にとつて観察していました。

きれいな花とそれなり?の花

花には、左のカワラナデシコ等のようにきれいな花と右のタイヌビエやイネ、エノコログサ等のようにきれいとはいえない花があります。

「それらは花とは言わないのでは・・・」と思う人もいるかも知れませんが、種子をつくる器官が花ですから、きれいでなくても花なのです。

きれいな花は目立つので、よくチョウ等が来ており、蜜をすったりするときに受粉してもらえます。それに対して、あまり目立たない花は風などに受粉してもらうことが多いようです。花それぞれの工夫があるのですね。



エゾカワラナデシコ



タイヌビエ

むかわの化石や生き物



ほべつ道民の森

コゲラ

背中の白黒のしま模様が目印の、小さなキツキの仲間です。しきりに木をたたいて、エサの虫をさがしています。キツキの足の指は、2本ずつ前と後ろを向き、木にとまりやすくなっています。一年中見られますが、木の葉が落ちる冬にかけて見つけやすくなります。

2006年11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	③	4
5	⑥	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	②③	24	25
26	27	28	29	30		

11月のこよみ

11月の休み：
6、13、20、27（月曜日）
24（祝日の振替）

11/3と23は町民無料入館日

■：休館日
[]：館内整理日
○：町民無料入館日

近年、中国で次々と発見される化石により、現在の鳥類が恐竜の子孫であることはほぼ間違いなさそうです。その恐竜は、他のハ虫類と大きく違っています。これまでの分類が大きく変わってしまう日も、そう遠くはないかも知れません。（さ）